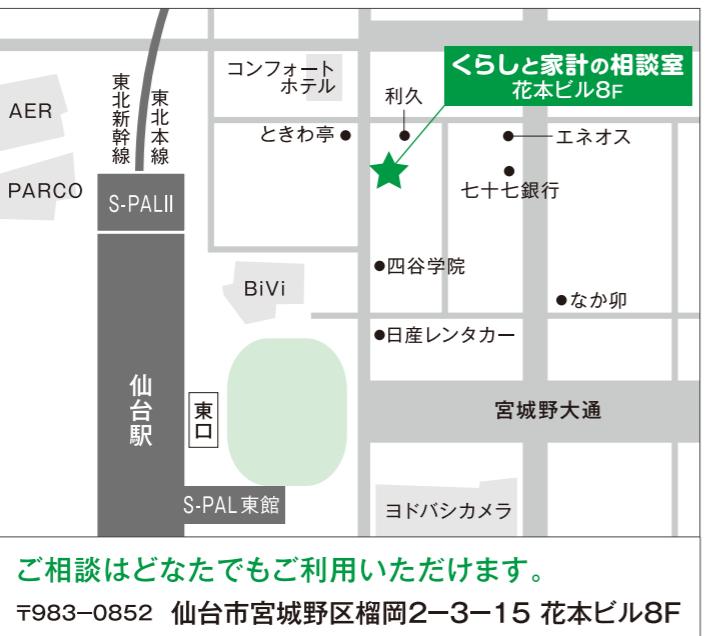


2019年度
みやぎ生協
「くらしと家計の相談室」
事業活動の報告



ご相談はどなたでもご利用いただけます。
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-3-15 花本ビル8F

※みやぎ生協は、宮城県家計改善支援事業を受託しています。

みやぎ生協 〈生活相談・家計再生支援貸付事業〉
くらしと家計の相談室
～ご相談からご融資までをサポート！～
022-292-5015 受付時間／月～土 10:00～17:00
(日・祝日・年末年始を除く)

みやぎ生協 くらしと家計の相談室

くらしのこと全般のご相談は
くらしの相談ダイヤル **022-292-5016**
受付時間／月～土 10:00～16:00(日・祝日・年末年始を除く)

だれもが安心してくらせる地域づくりを、 みやぎ生協の事業が応援します。

みやぎ生協では、くらしや家計、お金に関わる悩みを抱える方からのご相談をお受けし、現在の家計の状況を整理し、認識してもらいながら、改善策、解決策を相談者と一緒に考えていく「くらしと家計の相談室」を2013年9月に開設しました。組合員加入の有無は問わず、県民全てを対象に、相談料無料で実施しています。

この事業では、相談の結果の解決手段の一つとして「貸付支援」も行っています。これは、単に資金需要者の収入要件などから判断して融資を行うような、貸付を目的とした事業ではありません。その時の一時しおりではなく、相談者が自ら家計の改善を望み、持続可能な家計に立て直すすべを一緒に考えます。そして改善、解決の方法として資金の調達が有効であり、他機関からの借り入れが困難な場合は、組合員に対して生協から直接、貸付支援を実行するというものです。

事業開始から6年半を経過しましたが、相談総数5,766件、貸付支援1,042件、貸付支援金額は8億9,807万円となりました。年度末貸付金残高3億2,689万円です。

みやぎ生協は、「だれもが安心してくらせる地域をめざす」ことを事業活動の柱として取り組んでおり、このことを実現するため、生協としての新たな役割を発揮する一つの事業として、家計の相談と貸付が一体となった「セーフティネット貸付事業」を推進しています。

また、生活困窮者自立支援法の取り組みのひとつである「家計改善支援事業」について、平成30年度から宮城県の委託事業として「宮城県家計改善支援事業」を受託し、2020年度は3年目の事業運営に取り組んでいます。さらに、今年度から「仙台市生活困窮者等家計改善支援事業」を受託し、取り組みを開始しています。この間対応してきた相談内容からも、自立した生活を継続するためには、その基礎となる安定した収入を得るために就労の継続だけでなく、家計支出を見直し、改善により収入に見合った支出の見通しを踏まえた日常生活の継続が重要であることが明確になっていました。みやぎ生協では、これまでの相談実績を糧とし、今まで以上に積極的に、行政窓口や関連機関、関係団体との連携を図りながら、地域の生活者の家計支援に携わってまいります。

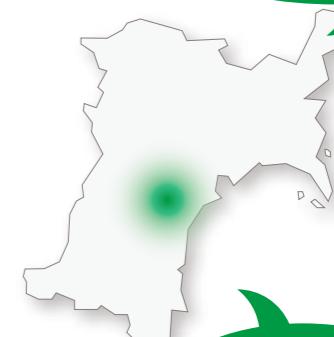
メンバーのくらしと家計改善をめざし、 資金面のご相談をお受けします。

相談は、生協メンバーに限らず、必要とする県民の方すべてを対象に、無料でお受けしています。相談者の9割超の方は、「家計に資金が必要だ」として、融資を希望されてのご相談です。

開設から6年半が経ち、社会福祉協議会様や行政保護課様、行政税務課様、各種NPO団体様などからのご紹介による来室が増えている傾向にあります。

これは現在の福祉行政の制度には見合わない方が明らかに存在し、家計や資金繩りに苦慮しても解決策が見つからない方が多いことの表れであると考えます。

仙台市:約56%
仙台市以外:約44%



約9割が
融資を希望

■ 2019年度の状況 (2019年3月21日～2020年3月20日)

当年度は、20歳代～30歳代の電話相談者が23.3%、70歳代以上が11.2%とこれまでに比較して高率になりました。

20歳代すでに自己破産を経験している方からの相談もあり、債務相談の低年齢化、高齢化が危惧されます。また、年収300万円未満の面談相談者が76.1%を占め、前年の74.8%を上回りました。単に貸付による家計改善支援は困難な相談が多い状況が継続しています。

[2019年度くらしと家計の相談室数値]

	2019年度 実績	事業累計
【電話相談件数】	617件	5,766件
【新規相談件数】	341件	3,035件
【面談率】	55.3%	52.6%
【延べ相談件数】	609件	5,594件

	2019年度 実績	事業累計
【貸付支援件数】	138件	1,042件
【貸付支援率】	40.5%	34.3%
【貸付支援金額】	1億1,711万円	8億9,807万円
【貸付支援単価】	84.9万円	86.2万円

相談内容から見える、「家計やお金に関するお困りごと」の特徴的な事例

当相談室では、これらの相談に対し、家計の収入状況、支出状況を相談者と整理した上で、改善、再生のための手段を一緒に考えます。そのうえで、公的制度や法的解決などの他制度優先の手段を探りながら、解決手段の一つとして生協からの融資が妥当と判断できる場合には、貸付をして支援しています。

相談窓口に貸付制度を備えることで、相談者の困りごと解決策の選択肢が広がっています。

Case1 カードのリボ払いでの間にか100万円の債務!!

相談趣旨／カードのリボ払いを使っていたら、限度額一杯で一括払いしかできなくなってしまった。返済が追い付かず家計が回らない!



相談室の対応／3枚のカードでリボ払いを利用し、毎月の返済を低くしそうしているため残高が一気に膨らんだ。もうカード利用はしたくないという相談者の意思を尊重し、クレジットカウンセリング協会での債務整理相談につないだ。



使い勝手のいいクレジットカード。“リボ払い”的な相談が増えています。毎月5万円使うのに支払は1万円。残り4万円は??単純計算でも1年で50万円の借金を抱えます。ショッピング限度枠はどのカードも大きく、いつの間にか債務が100万円になっていることもあります。毎月のカード利用は、収入に見合った使い方で“翌月一括払い”を基本とし、ご自身のカード利用限度枠や毎月の返済額を意識して、無駄な金利をかけずに賢く使いましょう。

Case2 過去の国保税・住民税などの滞納があり、滞納額を一括で払うめどを立てなければならない!

相談趣旨／税金滞納により給与を差押えられ、毎月8万円の分納を続けているが家計負担が大きい。



相談室の対応／生協貸付支援で、145万円60回の分割契約を連帯保証人を付して実行。返済額を毎月約3万円に抑えられたことで、その後の家計改善が図られ、教育資金の捻出にも見通しが立った。



税金関係の支払は、給与天引きではない、自営業であるなどの場合、支払が遅れがちになる傾向があります。滞納は高額にならぬうちに、行政窓口と十分に相談しておきましょう。

Case3 車検費用と自動車税の支払いが重なり準備できない。

相談趣旨／車検1か月前となったが、自動車税が昨年、今年分とまだ払えていないため、車検に出せず、仕事にも支障をきたす。普通自動車で20万円くらい必要!



相談室の対応／1年間の家計収支の中で自動車税が払えなかった原因を確認。今後の家計の見直しと資金需要時期に備えた貯蓄を進めることを条件に貸付支援を行った。



自動車税の請求時期、車検の時期は決まっています。車検が切れそうになり切羽詰まることがないよう、計画的な資金管理が必要です。

Case4 転職により初任給までの生活費が不足する!!

相談趣旨／再就職先が決まり働き始めるが、月末締め翌月末払いでの初任給支給日まで2か月間くらいの当面の生活費が足りない!



相談室の対応／家計収支表の現在の生活状況から不足額を算出、再就職先の雇用証明書などの書類から今後の収入を見通し、分割での返済が可能と判断し、貸付支援。3か月後の収入安定時期に再相談を実施することとした。



会社都合や自己都合で転職や再就職が必要な場合、思うように就労先が決まらず、収入が途切れてしまうケースが多くあります。貯蓄がある間はしのげますが、収入が厳しい時期に生活スタイルを変えずに安易に借入に頼ると大きな債務になります。まずは失業手当、傷病手当などの公的な支援給付が使えないものか確認しましょう。

みやぎ生協は、令和2年度「宮城県家計改善支援事業」、および「仙台市生活困窮者等家計改善支援事業」を受託しています。

生活困窮者自立支援法に基づき、家計やお金のお困りごとのご相談ができる行政の窓口を仙台市内に2か所、県内町村部に3か所開設しています。宮城県、仙台市が主体の委託事業です。対象地域にお住まいの方は、ぜひご利用ください。

宮城県家計改善支援事業

家計とお金のご相談窓口

宮城県南部自立相談支援センター 仙南事務所内

宮城県柴田郡大河原町大谷町126-4 オーガ2階
毎週火曜日 9:30~16:00

0224-51-8401

(年末年始はお休みです)

対象▼以下の地域にお住まいの方

蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町 川崎町 丸森町 亘理町 山元町



仙台市生活困窮者等家計改善支援事業

仙台市家計相談プラザ

仙台市家計相談プラザ

仙台市宮城野区榴岡2-3-15 花本ビル8F
平日 9:30~17:30(年末年始はお休みです)

022-791-7205



仙台市家計相談プラザ出張窓口

仙台市青葉区二日町6-6 シャンボール青葉2F
仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」内
平日 9:30~17:30(年末年始はお休みです)

022-395-8865



宮城県北部自立相談支援センター内

宮城県大崎市古川町9-12 H・F第一ビル101
毎週水曜日 9:30~16:00

0229-25-4517

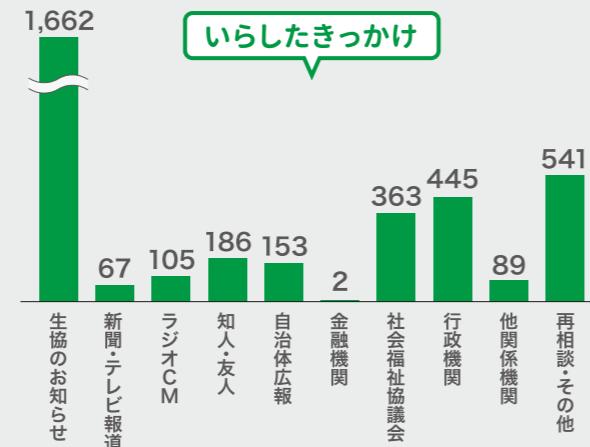
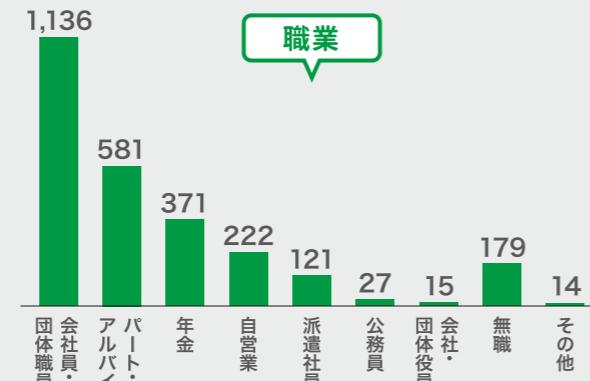
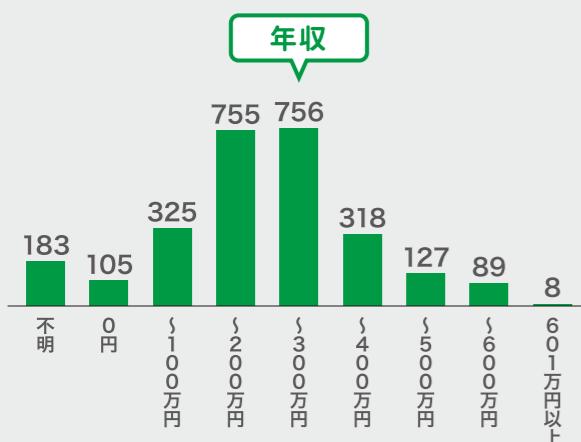
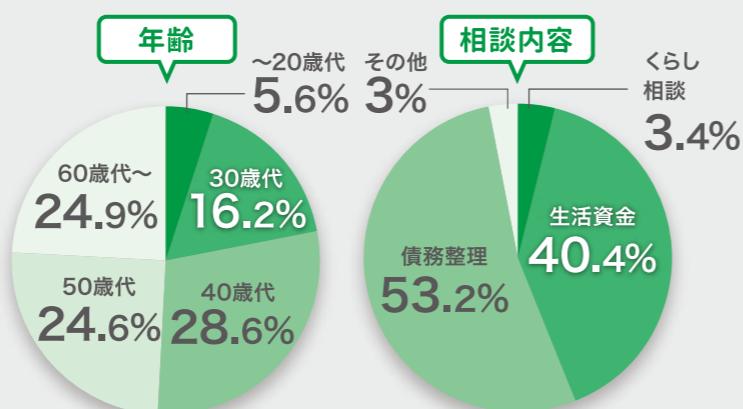
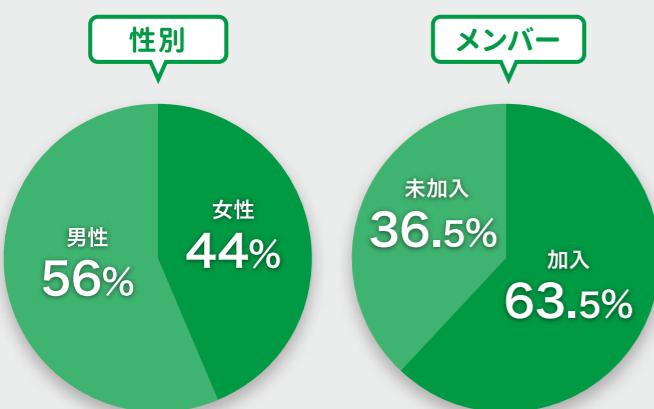
(年末年始はお休みです)

対象▼以下の地域にお住まいの方

加美町 色麻町 美里町 浦谷町 女川町 南三陸町



資料：相談面談者の属性 <2013年9月～2020年3月累計>



みやぎ生協家計再生支援貸付 融資条件 (貸付には審査があります。)

対象／他の制度利用に該当せず、貸付により家計再生が困難と判断でき、返済が無理なく出来る方。
金利／年9.0%
返済方式／元利均等返済等
遅延損害金／年14.6%

融資限度額／300万円(※1)
返済期間／5年以内
その他／連帯保証人または家計管理人(※2)が必要です。

● ご融資の際はみやぎ生協のメンバー(組合員)となるために1000円以上の出資金が必要です。

● 事業資金を使途としたご融資はできません。

※1 収入や資金使途により異なります。

※2 家計管理人とは弁済義務は負いませんが借主の家計再生に向けての協力や支援、生協との連絡や調整役など伴走者の役割を担っていただきます。

みやぎ生協は、地域のくらしをサポートする事業を推進しています。

みやぎ生協は、「協同の力で、人間らしいくらしを創造し、平和で持続可能な社会を実現する」ことをめざして、

事業とメンバー(組合員)と一緒に活動を進めています。

地域には、ご高齢の方、障がいをお持ちの方、子育て中の方、一人暮らしの方などさまざまな人がくらしています。

地域に住むみんなが、できることで助け合い、支え合うことで安心してくらせる地域を創るために、

みやぎ生協はくらしをサポートするさまざまな事業・活動を行っています。

その一部をご紹介します。

1. コープフードバンク

お問い合わせは **022-779-1556**

品質には何ら問題がないものの、さまざまな理由で販売が難しくなってしまった食品等を無償で寄贈いただき、支援を必要としている福祉分野の団体・施設に提供し、食べられる食品を有効に活用する活動です。2012年4月に事業をスタート。食品等を寄贈いただける協定企業様は125社。食品等の提供先の福祉団体・施設は、社会福祉協議会など335団体で、活動エリアも宮城県、福島県のみならず、東北6県に広がっています。



2. 低所得世帯の子どもの学習支援

お問い合わせは **022-218-3880**

低所得家庭および東日本大震災で被災した世帯の子どもへの学習支援のサポートを、NPO法人アスクと協同で2013年から取り組んでいます。現在は、宮城県と仙台市の低所得世帯の子どもへの学習サポート事業を受託したアスクと協同で、店舗に併設した集会室での学習支援事業をサポートしています。

3. こ～ぶふれあい便

お問い合わせは **022-347-3825**

お買い物が不便という方を支援する「お買い物代行サービス」です。店舗にある商品を週2回、事前にいただいた注文にそって、スタッフが生協のお店でお買い物を代行し、午後に商品をご自宅にお届けします。配達に伺った際に、次回の注文をお聞きします。県内17店舗で実施しています。

4. こ～ぶくらしの助け合いの会

お問い合わせは **022-218-5331**

高齢の方や障がいのある方、産前産後や子育て中の方など、手助けが必要な方と、お手伝いができる方が、それぞれ会員登録し、有償で助け合いを行なう活動です。清掃や洗濯、食事づくりなどの家事援助や話し相手、車を使用しない通院付き添い、障がいのある方の生活支援などをお手伝いしています。

5. くらしの相談ダイヤル

お問い合わせは **022-292-5016**

くらしの中での様々なお困りごとのご相談をお受けする「くらしの相談ダイヤル」を開設しました。ご相談内容に応じて、みやぎ生協が提供しているくらしの助け合いの会、各種サービス事業などのご案内をさせていただいたり、外部関係機関などのご案内をしています。